

ブロック大会創造委員会

事業計画（案）

佐賀ブロック協議会

ブロック大会創造委員会 委員長 兵働 将崇

1 近年、地域では経済規模の縮小、活力の低下が見られ、多くの市町村に共通する次世代
2 へ先送りが出来ない取り組むべき課題となっており、その解決策の一つとして佐賀県では
3 偉業を成した先人の志を振り返り郷土愛を育む取り組みが注目されています。佐賀ブロッ
4 ク協議会が主体となり、我々の運動を増幅する大会を展開し、郷土愛溢れる市民とともに
5 地域の魅力を高め、持続的に成長していける活力ある佐賀を創造することが必要です。

6 まずは、全員が挑戦し、誰一人取り残さない日本社会を築くために、本会の事業・運動
7 を推進します。そして、市民の当事者意識を育み持続可能な輝く社会を創造するために、
8 皆が志同じく邁進できるテーマを掲げ、郷土愛溢れる我々の運動を発信する大会を開催す
9 ることで、社会に主体的、積極的に参画する市民を創出します。さらに、我々の運動を効
10 果的に発信する大会にするために、大会の開催概要や魅力を有効的に伝える広報活動を展
11 開することで、一人でも多くの市民の参加につなげます。また、本大会を成功へ導き明る
12 い豊かな社会を実現するために、佐賀ブロック協議会全体で意識を共有し、主管LOMや
13 各委員会と緻密な連携をとることで、開催地の地域益への貢献や参加者の更なる成長を図
14 ります。そして、関係諸団体にJCに対する認識を深めていただくとともにメンバーの意
15 識醸成を図るために、記憶に残る大会式典を執り行うことで、佐賀ブロック協議会の想
16 と運動を力強く発信します。さらに、未来のJC運動の強化・発展につなげるために、価
17 値あるブロックファイナルを開催し、一年間の運動を通して培った想いを継承いたします。

18 未来を切り開く原動力としてJC運動を展開する我々JAYCEEが、地域や市民と志
19 を同じくして情報を共有し、影響力を高め、地域活性化に向けて持続的に成長していける
20 ように課題に挑戦し続け、魅力と活気に満ちた佐賀の進歩と繁栄の礎となります。

21 22 <事業計画>

- 23 1. 本会・九州地区協議会事業・運動の推進
- 24 2. 佐賀ブロック大会の構築・運営
- 25 3. 佐賀ブロック大会における主管LOMとの連携
- 26 4. ブロックファイナルの開催